

尼崎の古文書で知る、江戸時代!!

古文書解読・初級者講座、参加者募集 主催：尼崎郷土史研究会

江戸時代の尼崎地域は、魚問屋や肥料問屋・材木商などの商取引が盛んな城下町尼崎、中国街道や西国街道、淀川・神崎川や大坂湾岸の水運などいくつもの交通路に恵まれ、木綿や菜種作農家の経済的繁栄など、その多彩な歴史は尼崎の「市史」に描かれています。それは地域に遺されている多くの古文書が明らかにしているものです。

そんな古文書を自分で解読してみませんか？

この講座では、これから初めて古文書を読んでもみようという方々に向けて、崩し字の読み方、昔の用語や地域の歴史の調べ方を紹介します。どうぞ、ご参加下さい。

1 尼崎郷土史研究会：初級者講座

日 時：10月から翌年3月までの毎月第一月曜日
(初回は10月7日、最終回は3月3日)

受講料：4,000円(初回に一括払い)

定 員：15名

2 会 場：中央北生涯学習プラザ(尼崎市東難波町2丁目14-1)
(最寄のバス停：尼崎総合医療センター)

3 時 間：いずれも午後1時から2時30分

4 講 師：中村 光夫 氏(尼崎郷土史研究会副会長)

プロフィール：1949年生まれ。尼崎市の地域文書館と歴史博物館に於いて、四十年余「尼崎市史」の編集、地域古文書類の調査・収集を担当
現在は、尼崎の地域史を研究するほか、尼崎市・伊丹市・宝塚市にて古文書を読む会等の講師を担当

5 申込先：尼崎市立歴史博物館(文化財担当)

Tel 06-6489-9801 Fax 06-6489-9800

* 受付開始 令和6年9月5日(木)より